

「2012 こうもり (鳥取版) 第1稿」

2012.10.7 公演予定

台詞: 中村敬一 (10/7 版)

序曲

指揮: 松岡究
ミンクス管弦楽団

緞帳が上がると高座に三風氏登場。

枕 嘶 ①

三風

あまりに、派手な出囃子でして、ちょっと、面食らってしまいました…私、桂三風と申します。

なんでまた、私がここ鳥取におりますかと云いますと。
私の実家は、近江国、淡海と云われた琵琶の形の湖、琵琶湖のほとり、滋賀の草津。この草津の街に歴史も長く、建つは西岡写真館。なんと、幼少の頃は、西岡写真館で、お写真をとって育ったのが、この三風でして、鳥大の先生、西岡千秋さんのお招きで、馳せ参じて参りました。

今後とも、西岡写真館と嫌々、西岡千秋研究室と共にこの桂三風をお見知りおき頂きたく思います。

さて、トイ・プードル、ミニチュア・ダックスフンド、ロングコートチワワ。可愛いペットを家で飼うご家庭が増えておまして、世の中ペットブーム。

昔ですと、家のお子さんが犬の散歩をするのが、その役目でして、学校に通学する前の早朝に、或いは、学校から帰った夕方、お使いのついでに鎖に繋がれた可愛いわんちゃんを散歩する姿をよく見たものでした。

まあ、小さなお子様とか、か弱い女性ですと、犬を連れているのか、犬に連れられているのか…。下手をしますと、散歩をしているつもりで、人間の方が犬に連れ回されまして、散歩させられるなんて事になってしまいますが…

まあ、しかし、犬でしたら散歩をするのもいいですが、ペットといっても色々変わった動物を飼ってらっしゃる方もおられます。

まあ、しかし、こうもりなんかを買われる方はいらっしゃらないでしょうね。昼間の間はカゴの奥の方で、逆さになって、羽で身を隠すようにして、ぶら下がっていて、みんなが寝静まるやいなや、おもむろに目を開け、カゴの中を飛び回る。

こっそり起きて、その姿を見ようとしても、部屋の電気をつけると、また、逆さにぶら下がってしまう。これですと、とても、ペットにはなりません。さて、舞台は音楽の都ウィーン。今日、ご覧頂く「こうもり」は、ドクター・ファルケの別名です。まあ、あだ名とっていただければ結構です。

なんでまた、こんな忌まわしいあだ名がついてしまったかと申しますと、彼の友人と出かけた仮装舞踏会。友人は、蝶々、ドクターファルケは、よせばいいのにこうもりの扮装。その帰り道。すっかり、お酒も回って馬車の揺れに身を任せるうちに、こっくりこっくり。悪戯好きの友人が、そんなファルケを馬車の上から放り出して、とっとと家に帰ってしまったんです。

やがて、ウィーンの町にも朝日が昇り、街には通勤の紳士たち、買い物に現れたご婦人方、そして、物見遊山の観光客。溢れる人だかりの真ん中で、ドクターファルケと云えば、茶色のタイツに躰にピッタリの茶色のシャツ。背中にはこうもりの羽を模した大きなマント。頭にはご丁寧にコウモリの目と口をあしらった帽子まで被っているご丁寧さ。目が覚めると好奇の眼差しと嘲りの笑い。着替えも持ち合わせていませんので、ご自宅まで、このこうもりの格好のまま這々の体でご帰宅となったというわけ。それ以来、ウィーンの街ではドクター・ファルケはコウモリ博士の別名を拝命するに至ったのであります。

さて、この悪戯好きの友人の名前は、アイゼンシュタイン。ドイツ語で、アイゼンは鉄のこと、シュタインは石のこと。つまり、金石さん。相当の頑固者で石頭なのが、おわかりかと思えます。ご職業は銀行家で、資産家。しかし、シュタインの名前は、バーンスタイン、ルービンシュタイン、アインシュタインとみなさん、ユダヤの血をひく名前。と云うことはこのアイゼンシュタインは、ユダヤの金貸し金石さんということになりますな。

その奥様は、ああ、ナント美しきお名前か。ロザリンデ。ローザは、麗しきバラの名前。リンデは、菩提。バラと菩提というお名前のご夫人は、

まさに、見目麗しき貞淑なるご夫人…と思いきや。世の男どもは美し人妻を放ってはおきません。

今も、昔日の恋人、イタリア人のテノール、アルフレードが窓辺で恋を語っております。「こばとよ、こばとちゃん!!!」と。まあ、アルフレードとはオペラ『椿姫』の主人公の恋人の名。まるで、お話のようなこの設定も、オペレッタゆゑとお許し頂ければ幸いです。

第一幕

Nr.1 Introduction
Nr.1a Duett

ロザリンデ：寺内智子 アデーレ：小椋美香子 アルフレード：谷浩一郎
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

断 ②

三風

さて、金石頭こと、アイゼンシュタイン氏は、我が家で妻が元彼に口説かれているとも知らず、アクシデントに巻き込まれております。というより自らの

短気が損気で、つまらぬ事から税務署の役人をぶん殴っちまった。

まあ、税務署の役人を殴り倒したって気持ちは、よく分かりますが、私も皆様も分別をお持ちの市民の方はその気持ちをぐーっとこらえて生きておるわけでして、さすが石頭の名前の通り頑固なアイゼンシュタインはばかりと殴っちまった。

これで、5日間の牢屋入りの判決。それを弁護した役立たずの顧問弁護士のプリント氏のお手柄で、3日増えて、合わせて締めて8日間の監獄入りの判決が出てしまいます。

「お前の弁護が悪いんだ」「嫌々、ご主人様の法廷での態度が問題でして」と罪のなすりつけあいが始まります。

アイゼンシュタイン：おまえのせいで監獄入りだ！！

プリント：な・な・なにをおっしゃいます。アイ・アイ・アイゼンシュタイン様の態度に問題がありまして！！！」

三風 ほらほら聞こえてきました。アイゼンシュタイ邸で騒動が始まろうとしております。

Nr.2 Terzett

アイゼンシュタイン：山田康之 ロザリンデ：寺内智子 プリント：松本厚志
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

断 ③

三風

アイゼンシュタイン氏の八日間の監獄行き。いつも亭主の横暴と勝手さに辟易していたロザリンデ奥様には、ちょっとした休暇のようなもので、「亭主元気で留守がいい」とはよく言ったもの。元彼がチラチラしている彼女にとっては今日から天国のような日々が待っているというわけです。

ここで、登場するのが最初にお話ししましたコウモリ博士こと、ドクター・ファルケ氏。実は彼の腹の中にはある計画があります。アイゼンシュタイン氏にしっかりと、「こうもりの復讐」してやろうというのです。

まずは、彼を騙して、監獄へ出頭する前に、舞踏会へ誘い出します。そこで以前、仮装舞踏会で受けた悪戯の溜飲を下げようというのです。

そうとも知らずに女性と聞いたら見境のないアイゼンシュタイン氏はまるで、パブロフの犬のごとく、涎垂め的是は麗しき若きご婦人のおみ足。普通でしたら、この荒唐無稽な計画、こりゃ可笑しいなと気づくはずですが、女性との出会いなら後は野となれ山となれ… と、云うわけで、ドクター・ファルケの罠に飛んで火にいる虫のごとくはまってしまうと云うわけです。

Nr.3 Duett

アイゼンシュタイン：山田康之 ファルケ：吉田章一
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

三風

実はドクター・ファルケは女中のアデーレにも偽物の舞踏会への招待状を手渡してあります。アデーレも休暇を頂いて舞踏会へ、アイゼンシュタイン氏もそうとも知らずに同じ舞踏会へ。ロザリンデは元彼とアヴァンチュールを。そうとなれば、みんなの「異床同夢」勝手な思い違いで、意気投合。嘘の涙、偽りの嘆きで八日間の別れを嘆き合うこととなりました。

Nr.4 Terzett

アイゼンシュタイン：山田康之 ロザリンデ：寺内智子 アデーレ：小椋美香子
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

三風

ロザリンデ奥様のもとに元彼が現れます。彼は既に8日間の旦那様の不在を知っていて、もう部屋の中で、主人気取りです。しかし、本物の監獄の所長が本物の旦那様の収監の為に現れます。

「オレは彼女の旦那ではないぜ！」

「では、どなたです？」

「いえいえ、もちろんうちの旦那です。旦那以外の男性がこんな時間に居るはずないでしょう」

「オレが旦那！ それなら、お別れのキスを！！」

「キスなどと…ああなんと破廉恥な！！」

「いい加減にしてください。ちょっとこの後、予定がありまして…」

実はドクター・ファルケはこの刑務所の所長も。舞踏会へ招いているのです。

「牢屋と入っても大変、住み心地の佳いところでして」

「ちゃんと旦那様を演じてね」

「オレが旦那の代わりに監獄へ…」

と、ばかりに、大混乱。しかし、全てドクター・ファルケの計画です。さて、どうなりますことやら！！

Finale

ロザリンデ：寺内智子 アルフレード：谷浩一郎 フランク：西岡千秋
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

第二幕

晰 ⑥

三風

と、云うわけで、ドクター・ファルケの「こうもりの復讐」のお膳立ては全て整いました。役者がそれぞれ、そうとも知らずに向かうのは、ロシアの貴族、オルロフスキー公爵の大舞踏会。

このオルロフスキー公爵、中々の気むずかしい性格でして、ちょっとやそつとではお笑いにならない。ドクター・ファルケは、このオルロフスキー公爵を、今晚は大笑いさせて差し上げましょうと約束しています。そうです、まさにオンタイムで「こうもりの復讐」を楽しんでいただくという趣向なわけです。

Nr.7 オルロフスキーのクプレ

オルロフスキー公爵：鶴崎千春
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

晰 ⑦

三風

ドクター・ファルケの「こうもりの復讐」を知らされているのは、オルロフスキー公爵とロザリンデだけ。それ以外の役者たちは、自分だけがこのオルロフスキー公爵の舞踏会に招かれ、楽しんでいるものだと疑っていません。そうそう、先ほどの刑務所の所長も、ファルケに招かれています。つまり、アイゼンシュタイン氏、彼はフランス人の貴族ルナール侯爵に。女中のアデーレは女優のオルガに。刑務所の所長のフランクはシャルグラン男爵に、そして全て企みを知った上で奥方のロザリンデは、身分を隠したハンガリーの貴婦人に。

しかし大舞踏会といっても、一晩中、誰とも遭遇することなくすむはずありません。おっと、どうやら、アイゼンシュタイン氏、そうでした、ここでは、フランス人の貴族、ルナール侯爵は、自分の家の女中のアデーレとご対面のようです。アデーレはっと…そうそう女中でなくて女優のオルガに化けています。まさに、女優の腕を試されることとなりそうです。どちらの役者が上手でしょうか？！

Nr.8 アデーレのクプレ

アデーレ：小椋美香子
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

三風

女中が女優に！ 化けるのは女の方が上手なようで！！
アデーレは、ものの見事に、旦那様をだました。

今度はルナール伯爵こと、アイゼンシュタイン氏は、こともあろうか、奥方が、変装しているハンガリーの貴婦人にご執心のようです。そこで、取り出したのが、お得意の小道具、美しい時計。これをエサに、女性の気をひき、拳げ句の果てに、コチコチカチカチと時を刻む時計を片手に、女性の胸の鼓動を計って差し上げるようです。

「あなたの胸の高まりを計って差し上げましょうか？」

まあ、よく考えると間抜けなものです。その相手が奥様なんですから。
「うちの旦那はこうやって若い女を口説いていたのね！！」

怒り心頭のロザリンデは、まんまとこの証拠の品を獲得してしまいます！！

Nr.9 時計の二重唱

ロザリンデ：寺内智子 アイゼンシュタイン：山田康之
指揮：松岡究 ミックス管弦楽団

三風

さて、ここで、お客様の登場です…
韓国からのオペラ歌手の皆さんに、アリアの数々を披露していただきます。

ガラコンサート

「韓国歌曲とアリアの饗宴」

① オペラ アリア

ミン・ウンホン Sp : オペラ「セルビアの理髪師」より「今の歌声は」(ロッシーニ)
オ・ソンリョン Tn : オペレッタ「微笑みの国」より「あなたは、私のすべて」(レハール)
パク・ビョンフン B : オペラ「ドン・カルロ」より「一人寂しく眠ろう」(ジョゼッペV)
ピアノ キム・ミンジョン

② 韓国の歌曲

オ・ソンリョン Tn : ベンノレ(船の唄)
ミン・ウンホン Sp : セタリョン(鳥の歌)
パク・ビョンフン B : ドエンジャン(味噌)
ピアノ キム・ミンジョン

③デュエット

ミン・ウンホン Sp とオ・ソンリョン Tn

: オペラ「椿姫」より「乾杯の歌」(ヴェルディ)

ピアノ キム・ミンジョン

※パーティのフィナーレでキャストが合唱参加

晰 ⑩

三風

それでは、我らがハンガリーの貴婦人ことロザリンデにもお国の歌を披露していただきます。ハンガリーの民族的な音楽、チャールダッシュです。

Nr.10 チャールダッシュ

ロザリンデ：寺内智子

指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

晰 ⑪

三風

舞踏会が最大の山場を迎えます。響き渡るワルツの調べ、それに合わせる人々のステップの音。グラスを合わせる音、人々の笑い声。華やかなウィンナワルツで天国のようなひとときが過ぎ去っていきます。その余韻に浸ってすっかり、男性たちは羽を伸ばして舞踏会を満喫しているようですが、夢のような宴が永遠に続くはずありません。朝の教会の鐘がウィーンの街にも響き渡ります。「ゴーン・ゴーン」これでは、夕方のお寺の鐘ですな。

「カラン・カラン～」

さあ、大変それぞれの変装も捨て、元の生活に戻らないと。アイゼンシュタイン氏、目指すはバステュークの監獄。そしてそこではシャルグラン男爵ならぬ、フランク所長がお待ちかねと云うこと！！ さてさて、宴の後や如何に！

Finale

オルロフスキー公爵：鶴崎千春 ロザリンデ：寺内智子 アイゼンシュタイン：山田康之

ファルケ：吉田章一 フランク：西岡千秋 アデーレ：小椋美香子

指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

第三幕

晰 ⑫

三風

飲んでるときはいいのですが、その翌日はいけませんな～
未だに夜明けの教会の鐘が頭の中で鳴っているようで。ああ、あんなに飲むん
じゃなかった。酔ってあんな馬鹿騒ぎしなければよかった！

まあ、お酒に関して「後悔、先に立たず！」でして、「こうもりの復讐」の
登場人物たちも、皆、同じ思いかも知れませんね。

しかし、夢のような舞踏会でシャルグラン男爵にプロポーズされ、女優のオ
ルガを演じていた女中のアデーレが、今度こそ、財産のあるパトロンの援助で
女優になれるかも！！と期待に胸弾ませています。アデーレが男爵に教えら
れた住所をたずねていきますと、瀟洒な豪邸ならぬバステューユの監獄。鉄格
子があったり、手配書なんか壁に貼ってある。

なんかちょっと可らしいなと思いつつも、このチャンスをとばかり、女優
の腕前を披露しはじめます。「うぶなおぼこ娘でも、おしゃれなパリジェンヌ
でも、女王様でも！！」 まあ、ご夫人はどなたも、演じるまでもなく女王様
かも知れませんが… まあ、ご覧下さいませ！

Nr.14 アデーレのクプレ

アデーレ：小椋美香子
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

晰 ⑬

三風

男やもめのフランク所長は、感激ですよな。自分の職場に若い女の子がたず
ねてきて、結婚してくれとばかりに迫る。でも、
「私はシャルグランではなくて、フランク。 男爵でなくて、所長です」
とは、中々いいだせないもんですな～

さてアイゼンシュタイン氏が駆けつけたバステューユの監獄には、彼の代わ
りにロザリンデの元彼のアルフレードが投獄されております。それと分かって
怒り心頭のアイゼンシュタイン氏は、あの能なし弁護士プリントの法衣を奪っ
て、にわか弁護士になりすまして、二人の様子を探ります。

しかし、さすが元彼ですので、ロザリンデと二人の息の合っていること！！
悔しい！！ 許せない！！ 何て奴だ！！！！ それを押し殺して、何とか
しっぽを捕まえようとはしますが… どうなりますことか！

Nr.15 三重唱

ロザリンデ：寺内智子 アルフレード：谷浩一郎 アイゼンシュタイン：山田
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

三風

しっぽを捕まえたつもりがアイゼンシュタイン氏の目の前に取り出されたのは… あちゃ～ あの時計ですわ！！

「あなたの胸の高まりを計って差し上げましょうか？」

これを奥様から云われてしまったら、もうゲーの音も出ません！
負け！！ 完敗ですな！！

これぞ、ドクター・ファルケの「こうもりの復讐」
全てを笑いとシャンパンの泡の中に飛ばして、楽しいお開きとなります。

Finale

オルロフスキー公爵：鶴崎 ロザリンデ：寺内智子 アイゼンシュタイン：山田
アデーレ：小椋 アルフレード：谷浩一郎 フランク：西岡千秋
指揮：松岡究 ミンクス管弦楽団

—おしまい—